１歳未満の乳児に蜂蜜を与えないでください
～　乳児ボツリヌス症にご注意　～

乳児ボツリヌス症の予防のため、１歳未満の乳児に、はちみつ等、ボツリヌス菌の芽胞に汚染される可能性のある食品を与えるのは避けてください。

今年 2 月、都内で、はちみつが原因と推定される乳児ボツリヌス症の発生がありました。乳児ボツリヌス症は１歳未満の乳児に特有の疾病で、ごくまれに発生がみられます。経口的に摂取されたボツリヌス菌の芽胞※が乳児の腸管内で発芽・増殖し、その際に産生される毒素により発症します。

症状は、便秘が数日間続き、全身の筋力低下、哺乳力の低下、泣き声が小さくなる等、筋肉が弛緩することによる麻痺症状が特徴で、重症例では、呼吸困難になる場合があります。

ボツリヌス菌は、芽胞の状態で、広く環境中に存在しているため、食品によっては、環境中からの移行等により汚染されている可能性があります。

1987 年（昭和 62 年）10 月、当時の厚生省が注意を呼びかける通知を出し、その後、蜂蜜を原因とする事例は減少しました。

※　芽胞とは

ボツリヌス菌などの特定の菌は、増殖に適さない環境下において、芽胞を形成します。芽胞は、加熱や乾燥に対し、高い抵抗性を持ちます。

芽胞を死滅させるには 120℃4 分以上またはこれと同等の加熱殺菌が必要です。100℃程度では、長い時間加熱しても殺菌できません。

関連リンク

・ボツリヌス菌（Clostridium botulinum）（食品衛生の窓 ｜ 東京都福祉保健局）

・乳幼児のための食品衛生（食品衛生の窓 ｜ 東京都福祉保健局）
　→ 乳児ボツリヌス症

・ボツリヌス症　Botulism (東京都感染症情報センター｜ 東京都健康安全研究センター)